

久田見小学校では、八百津町のふるさと教育の方針『ふるさとを愛する豊かな心を育てる』を受け、地域のみなさんの協力を得ながら、ふるさと教育を進めています。

1 はじめに

本校のふるさと教育のテーマは、「ふるさとを愛し、感謝の心を育む」です。そのために、

- ①ふるさとを知る。
- ②ふるさとに働きかける。
- ③ふるさとに感謝する。

の、3つの観点から1年を通して、取り組んでいます。



2 活動内容

(1)ふるさとを知る

＜久田見・福地オリエンテーリング＞

ふるさとに愛着をもって生活するために、まず、ふるさとを知ることから始めようと、毎年、異学年グループ(高原グループ)でオリエンテーリングを行っています。平成26年度は、久田見地区15カ所を設定しました。工場や店舗、牧場、だんじり小屋など、ふるさとに昔からある店や事業所等を各グループそれぞれ3～4カ所訪問し、地域の人たちとふれあう場をもちました。

子どもたちは、「仕事を休んでまで、私たちのために説明をしていただいた。」と地域の方の温かさを感じたり、「久田見は古い歴史があるんだな。」と、ふるさとの良さを改めて認識したりできました。

(2)ふるさとに働きかける

＜地域の高齢者との交流活動＞

毎年、子どもたちが育てた花を贈ったり、運動会へ招待したり、年賀状を出したりして、地域の高齢者と1年間を通し



て交流しています。

この交流を通して、久田見や福地を支えている方への感謝と、尊敬の気持ちを育てることがねらいです。

平成26年度から、子どもが1年間交流する方を決め、年間を通して継続的にやりとりをすることにしました。花を届けるときにいろいろな話をしたり、葉書や年賀状で、学校生活の様子を伝えたりして、高齢者とのふれ合いを楽しみました。

花届けのメッセージには、「ぼくは、〇〇さんが、100才まで長生きして欲しいから、百日草を選びました。」など、心温まる文がたくさんありました。子どもたちに思いやりの心が育っています。

(3)ふるさとに感謝する

＜ふれあい祭り＞

日頃、見守りボランティアなどでお世話になっている地域の方や保護者のみなさんにお越し頂いて、毎年11月に「ふれあい祭り」を行っています。

本校伝統の「トランペット鼓隊」の演奏や、各学年の学習発表のあと、お越し頂いた方と遊ぶ「ふれあい活動」で、楽しいひとときを共有しました。

また、6年生が中心となって計画を立て、いつも登下校を見守って頂いているみなさんに感謝の気持ちを伝えました。



3 おわりに

久田見小学校は、平成26年度に岐阜県教育委員会から「ふるさと教育奨励賞」を頂きました。これもひとえに、地域のみなさんのおかげと感謝しています。

地域と共にある本校にとって、みなさんの支えは、なくてはならないものです。

これからも、地域と一体となって、ふるさと教育を進めていきたいと考えています。